

### 総括

全47項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、それぞれのプランの目標の達成を目指して取り組みを進めている。

その結果、農業分野では、ユズやぶしゅかんの新たな施設整備による生産拡大や、新たにブランド化された畜産物の生産・加工販売の開始につながり、水産分野では、土佐清水市や宿毛市で大規模な加工施設の整備が進行している。また商工業分野では、民間事業者による産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した加工場の整備が進むとともに、道の駅よって西土佐のオープンにより、地域の物産販売や観光の拠点が整備された。こうした各分野の取り組みにより新たな雇用創出効果も現れてきている。さらに、観光分野では、黒潮町に整備された人工芝グラウンドを核としたスポーツツーリズムの推進により交流人口が拡大しており、また、土佐清水市電車でスノーピーク土佐清水キャンプフィールドがオープンするなど、幡多地域の観光資源の魅力向上が図られている。今後とも、市町村や関係団体、民間事業者等との連携協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進していく。

### これまでの取り組みの成果等

#### ◎各分野の取り組みの成果と今後の方向性

##### ■農業分野

ユズ、直七、ぶしゅかんといった柑橘の作付面積の拡大や青果、加工品の販路拡大等に取り組むとともに、ユズの新たな選果・搾汁施設（H28）やぶしゅかんの新たな集出荷加工施設（H30）など生産施設の整備も進んだ。

また畜産関係では、土佐清水市の「土佐極鶏あしずりキング」の生産加工施設（H29）の整備により、新たなブランド鶏の加工・販売が始まった。

今後は、生産技術の向上や新たな加工品開発、商談会への出席など生産面、販売面での取り組みを強化していくとともに、新たに動きが出てきた直七など果実の産業クラスターの取り組みを推進し、生産性の向上や農産加工品の販売拡大を図っていく。

##### ■林業分野

大月町の土佐備長炭の生産力アップ及び四万十市の地域産ヒノキのPR等に取り組む、備長炭の販売とヒノキを使った「四万十の家」の着工戸数は順調に伸びている。

今後は、課題となっている備長炭の原木確保のため、伐採方法の検討や新たな植栽を進めるとともに、引き続き、四万十ヒノキのPRに取り組む、地域の県産木材の利用促進を図っていく。

##### ■水産業分野

土佐清水市のメジカや宿毛市・大月町の養殖マグロ、ブリ、タイといった地域の資源を生かした産業クラスターに取り組む、水産加工事業者を中心に外商活動による販路拡大等の取り組みが進んだ。

土佐清水市のメジカ関連産業では、H31.4月に新冷凍保管施設が稼働し、さらに共同加工や共同残漁施設の整備も進んでいる。

また、宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクトでは、地域の水産加工事業者は順調に販売を拡大しており、また、H31.3月には県外大手事業者による大型水産加工施設が試験操業を開始した。

今後は、メジカを原料とする宗田節を全国にプロモーションする戦略商品の製造ライン整備を支援していくとともに、マグロやブリ等の養殖ビジネスを核とした地域の交流人口拡大等に取り組む、地域の水産物の販売拡大を図っていく。

##### ■商工業分野

地域商社の役割を担う事業者が加工保管施設を整備（H29）し、県版HACCP第3ステージの認証を取得するなど、事業者の衛生管理の向上、地域資源を活用した商品開発、販売拡大が進んでいる。

また、拠点ビジネスの取り組みでは、道の駅よって西土佐がオープンし、地域の新たな特産品販売や観光の拠点となっている。

今後は、売上アップにより地域への波及効果をもたらすよう、商談会への出席などにより、さらなる販路拡大につなげていく。

商店街振興の取り組みでは、四万十市において、天神橋商店街の遊休地を活用した、にぎわい拠点の整備が進んでおり、R2.4月のオープンに向け、拠点施設を核として中心商店街に人の流れをつくる取り組みを官民一体となって進めている。

##### ■観光分野

（一社）幡多広域観光協議会が、日本版DMO登録法人となった（H30）ほか、土佐西南大規模公園の人工芝グラウンドがオープン（H29）し、スポーツツーリズムの新たな拠点ができた。


また、土佐清水市電車地域は、H31.4月にスノーピーク土佐清水キャンプフィールドがオープンしたほか、電車センターや新設摺海洋館「SATOUMI」の整備も順調に進んでいる。これらの施設整備を契機に電車海洋クラスター推進協議会において、周辺施設やアクティビティへの誘導、飲食メニューや土産物の開発などにより、地域での周遊を促進する取り組みを進めている。

今後は、広域観光協議会を中心に6市町村や関係団体が連携し、自然・体験メニューの磨き上げ、インバウンドやスポーツツーリズム誘致に組み込み、幡多地域への観光客の増加と、周遊・滞在型観光の確立を目指していく。


#### ◎地域アクションプランによる雇用の創出（H28～H30） 53人

### 主な取り組み事例


#### No.4 四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化

地域: 四万十市 実施主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合、 四万十ぶしゅかん(株)、四万十市	
<b>取り組みの内容</b>	・集出荷加工施設の整備 ㊟ ・苗木補助、幼木の管理技術指導 ・商談会への出席、首都圏でのキャンペーンの実施
<b>主な成果</b>	・栽培面積 ㊟:490a → ㊟:1,106a ・生産量 ㊟:18,700kg → ㊟:32,592kg
<b>今後の方向性</b>	・組合員数の拡大 ・苗木の定着率の向上 ・生産管理ノウハウの向上による生産力アップ ・県版HACCP第3ステージ認証取得 ・ぶしゅかんの更なる認知度の向上


#### No.19 だしが良くて宗田節商品の販路拡大促進

地域: 土佐清水市 実施主体: (株)ウェルカムジョン万カンパニー	
<b>取り組みの内容</b>	・県内外の商談会に出席 ・県版HACCP第3ステージ認証取得 ㊟ ・新商品開発 2品 ・新商品の販売開始 ㊟
<b>主な成果</b>	・売上高 ㊟:47,600千円 → ㊟:85,613千円
<b>今後の方向性</b>	・生産機器及び商品包装機器などの生産設備の拡充と更新


#### No.31 三原村のどぶろくによる地域活性化事業

地域: 三原村 実施主体: 土佐三原どぶろく合同会社	
<b>取り組みの内容</b>	・販売合同会社の設立 ㊟ ・酒類販売免許の取得 ㊟ ・パンフレット、販促物等の作成 ㊟ ・新酒祭の開催 ㊟ ・県版HACCP第2ステージ認証取得（2軒） ・新商品開発 5品
<b>主な成果</b>	・売上高 ㊟:4,540千円 → ㊟:14,794千円
<b>今後の方向性</b>	・生産体制、衛生管理体制の充実強化 ・新商品の開発と販路拡大 ・SNSやメディア等を活用した情報発信の推進

#### No.8 すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業

地域: 宿毛市、大月町 実施主体: すくも湾漁業協同組合	
<b>取り組みの内容</b>	・身割れ防止試験及び落下試験の実施 ㊟ ・電気タモ（電撃による魚類沈静化装置）デモ導入試験の実施 ㊟ ・県版HACCP第3ステージ認証取得 ㊟
<b>主な成果</b>	・売上高 ㊟:1.04億円 → ㊟:1.24億円 ・加工量（原魚ベース） ㊟:191.4t → ㊟:551t ・雇用の創出 ㊟:7人 → ㊟:11人
<b>今後の方向性</b>	・原魚の安定調達と加工体制の強化による生産拡大 ・全国展開による販路拡大


#### No.24 売り出せ西土佐プロジェクト推進（拠点ビジネス）

地域: 四万十市 実施主体: (株)西土佐ふるさと市、 四万十市	
<b>取り組みの内容</b>	・道の駅よって西土佐オープン（H28.4月） ・オリジナル商品の開発 ・新商品開発数 36品 ㊟ ・地域特産品を活用した飲食メニューの提供 ・サイクリングイベントの実施
<b>主な成果</b>	・売上高 164,579千円 ㊟ ・来場者50万人突破（H31.4月） ・雇用の創出 ㊟:6人 → ㊟:30人
<b>今後の方向性</b>	・地域素材を活かした商品開発、地域の事業者と連携した地域産品、飲食メニュー等の販売促進 ・地域産品の域外への販路拡大 ・地域観光の拠点としての観光情報発信力の強化


#### No.33 天日塩塩を活用したビジネス推進事業

地域: 黒潮町 実施主体: (有)ソルティープ	
<b>取り組みの内容</b>	・製塩施設の整備 ㊟ ・新規結晶ハウスの整備（R元） ・製塩体験の実施
<b>主な成果</b>	・製塩量 ㊟:4,338kg → ㊟:7,000kg ・売上高 ㊟:12,000千円 → ㊟:22,610千円 ・塩づくり体験者数 ㊟:289人 → ㊟:520人
<b>今後の方向性</b>	・新規結晶ハウスによる増産と衛生管理体制の強化 ・高付加価値商品等の開発による販路拡大 ・県版HACCP第2ステージ認証取得


#### No.17 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業

地域: 宿毛市 実施主体: (有)菱田ベーカリー	
<b>取り組みの内容</b>	・プレハブ冷凍庫導入 ㊟ ・首都圏でのテストマーケティング等県内外販促活動 ㊟ ・県版HACCP第2ステージ認証取得 ㊟ ・新商品「あんこブッセ」の完成・販売 ㊟
<b>主な成果</b>	・羊羹ぱん等の売上高 ㊟:3,000千円 → ㊟:45,667千円 ・雇用の創出 ㊟:7人 → ㊟:11人
<b>今後の方向性</b>	・生産体制、衛生管理体制の充実強化 ・テストマーケティング等による販促活動の強化

#### No.25 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築

地域: 四万十市 実施主体: しまもと百笑かんぱに(株)、 四万十市地域商品研究会	
<b>取り組みの内容</b>	・加工保管施設の整備 ㊟ ・台湾での県フェア開催 ㊟ ・人材育成研修 ㊟ ・県版HACCP第3ステージ認証取得 ㊟
<b>主な成果</b>	・売上高 ㊟:30,000千円 → ㊟:49,315千円 ・取引先数 ㊟:180社 → ㊟:277社
<b>今後の方向性</b>	・地域の魅力的な素材を活かした定番商品の確立 ・販売ターゲットに合わせた商談会への出席 ・地域商社としての機能強化（国内外への販売拡大）

#### No.38 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト

地域: 幡多地域全域 実施主体: (一社)幡多広域観光協議会	
<b>取り組みの内容</b>	・人工芝グラウンド完成 ㊟ ・合宿等の誘致活動の実施 ・スポーツ施設のポータルサイトの開設 ㊟
<b>主な成果</b>	・入込（宿泊）客数 ㊟:4,600人 → ㊟:11,964人
<b>今後の方向性</b>	・関係団体と連携した誘致活動の推進 ・集落活動センターと連携した受入態勢の整備とおもてなし力の向上等によるリピーターの確保

※○囲み数字は時点を表す例）平成29年度＝㊟